

事務事業名		綾里簡易水道施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業						
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目						
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業		
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		16	01	01	02	02		
根拠法令		水道法		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 28 年度～ 31 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分						
所属	部課名	都市整備部簡易水道事業所				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)						
	課長名	千葉 洋一										
	係名	簡易水道係	電話	0192-27-3111								
	担当者	館下 睦章	内線	172								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
綾里簡易水道は、不動沢と綾里川ダム水を水源としているが、綾里川ダム水のマンガン濃度が高く、渇水時には膜ろ過設備の膜閉塞による断水が懸念されているため、マンガン除去施設整備を行うことにより、断水の懸念も解消されると同時に、綾里川ダム水の直接取水が可能となり、渇水時でも安全な水を安定的に供給することができるようになる。 マンガン除去施設整備 ①マンガン対策検討調査 ②変更認可申請書作成業務委託 ③詳細設計 ④マンガン除去施設整備工事						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金				
							財源内訳	都道府県支出金				
								地方債		435,000		
								その他		9,752		
								一般財源				
								事業費計(A)		444,752		
	人件費	正規職員従事人数		1								
		延べ業務時間		2,100								
		人件費計(B)		8,400								
		トータルコスト(A)+(B)		453,152								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
マンガン対策検討調査		ア	マンガン除去施設整備
			箇所
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
・変更認可申請書作成業務委託		ウ	
・詳細設計			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
綾里簡易水道使用者		名称	
		単位	
		カ	給水区域内人口
			人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
マンガン除去施設整備をすることによって、綾里川ダム水の直接取水が可能となり、渇水時でも安全な水を安定的に供給することができる。		ク	
		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	給水人口
			人
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	年間有収水量
住みやすい生活環境になる。		ス	
			m ³

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円			30,000	200,000	205,000	
		その他	千円		4,752	5,000			
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	0	4,752	35,000	200,000	205,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間		600	500	500	500	
		人件費計(B)	千円	0	2,400	2,000	2,000	2,000	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	7,152	37,000	202,000	207,000
⑤ 活動指標		ア	箇所	1	1	1	1		
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	人	2,501	2,436	2,372	2,310	2,249	
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	人	2365	2,305	2,246	2,189	2,133	
		シ	m ³	186957	180,983	175,192	169,586	164,159	
		ス							

事務事業ID	1157	事務事業名	綾里簡易水道施設整備事業
--------	------	-------	--------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成12年9月、マンガン濃度の高い綾里川ダムの原水により綾里浄水場膜ろ過設備の膜閉塞がおき、断水した。このため、マンガン除去施設整備が必要となったことから、合併建設計画や総合計画に事業登録してきたが、これまで事業化に至らなかった。平成28年度に、マンガン対策検討調査を行い、マンガン除去施設整備が認められた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
平成29年3月末にマンガン高濃度を起因とした濁水が発生した。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
濁水にならないようにしてほしいという要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 簡易水道施設の整備は、安全な水を安定的に供給することにつながり、その結果、潤いに満ちた快適な都市環境の創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 上水道の整備は、水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 整備の対象が綾里簡易水道であり、その給水区域内人口を対象としていることから、限定・追加はできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在、綾里簡易水道の給水普及率は現在94.6%であり、住民の水道への依存度は高いが、すべての住民に良質な水を供給するために、さらに普及率を高めていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事業を廃止・休止すれば、濁水時に安全で安定的な水道水の供給ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 既存施設を最大限に利用した施設整備にする形で、事業費の圧縮を図っており、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設整備に必要な変更認可申請書作成及び設計業務は、専門業者への委託で対応している。そのほかの工事発注業務等は、必要最小限の担当者で対応しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 簡易水道使用者から給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	<p>① 現状維持</p> <p>② 改革改善(縮小・統合含む)</p> <p>③ 終了・廃止・休止</p>	<p>該当するものに「○」印をつける</p>	(2) 改革・改善による期待成果																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<p>快適な生活環境に資するため、引き続き事業を推進し早期完成を目指す。</p>		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		●	×																				
低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
<p>① 現状維持</p> <p>② 改革改善(縮小・統合含む)</p> <p>③ 終了・廃止・休止</p>	<p>当事業は、綾里地区における生活用水の供給に直結する課題であり、この改善には地元からも大きな期待が寄せられているので、計画どおり実施していきたい。</p>